

## がん検診の精度管理について

がん検診は、がんを早期に発見し、早期に治療することにより、がんによる死亡を減少させることを目的としていますが、そのがん検診の方法が有効かつ効率的に行われているかを見ていく必要があります。検診の方法などについて点検し評価することを精度管理といいます。その指標として受診率、要精検率、がん発見率などがあります。当センターにおいては市町のがん検診事後報告を基に医療機関および市町に追跡調査を行い、精度管理を実施しています。

下の図に大腸がんについて検診受診者数とがん発見率（発見がん患者数/受診者数×100）を示しました。

大腸がんなどは受診者数、発見率とも年々増加してきています。

